

科目名称	12028 アカデミックスキル（情報リテラシーと調査）		配当学年	1年		単位	2単位
担当教員名	水井 雅彦		授業開始学期	春学期	曜日時間	水曜1限	教室
実務経験のある教員による授業		授業形態	講義	○	演習ゼミ		実習
							3406教室

ねらい	情報通信技術（information and communication technology; ICT）はこれまでの時間と距離の概念を変え、情報の収集と発信を容易にした。書籍や新聞は、著者・記者と編集者により情報の「正しさ」がある程度確保されていた。しかし、web検索で得た情報や記事の「正しさ」は、自ら確認する必要がある。また、情報を発信するとき、著作権やマナーなど情報倫理に対する配慮が不可欠となる。本講義では、情報倫理・検索方法・情報確認・プレゼンテーションに対する講義を行い、課題レポートやアンケート集計、卒業研究で役立ててもらいたい。
講義概要	web情報検索による調査と、プレゼンテーションのための資料作成に重点を置く。講義テーマに合わせ、必要な知識を補足説明する。情報検索は、受講者のスマートフォン・ノートPCなどを用いる。便利な機能を知っていても、使えなければ意味がない。講義内容は、大学での課題レポート作成・ゼミでの発表で必要な内容で構成する。

講義形式			
情報収集・資料収集	○	グループディスカッション	
反転授業・双方向授業		プレゼンテーション	○
グループワーク		振り返り、ミニツツペーパー	○
ピアティーチング		PBL(問題・課題解決型)	○

達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学生活に必要なとなる基礎的なパソコンとソフトウェア、アプリケーションの操作ができる。 2. プレゼンテーションソフトを用いて資料を作成でき、レイアウトをはじめとした編集や加工を行うことができる。 3. 情報倫理を理解した上で、web検索による調査・情報の発信が適切に行える。 4. 各講義・実習などの課題レポートを作成でき、電子メールを用いた提出をはじめ各提出方法に対応できる。
------	--

授業を通して修得可能な能力					
知識・理解	多文化・異文化	○	関心・意欲・態度	自己管理力	○
	人文・社会・自然	○		チームワーク・リーダーシップ	
	専門知識	○		倫理観	○
思考・判断	論理的思考力	○		社会的責任	○
	問題解決力	○		生涯学習力	○
総合的な学習経験と創造的思考力		○	技能・表現	コミュニケーションスキル	○
				数量的スキル	○
				情報リテラシー	○

コースとの関連					
法律学科	キャリア	○	地域経済学科	経済	○
	資格取得	○		経営	○
	リスクマネジメント	○		地域づくり	○
国際社会学科	英語	○		観光ビジネス	○
	ハングル	○		スポーツマネジメント	○
	国際	○			

関連科目	（共通教育科目）情報処理演習、数学と社会、データサイエンス。 （専門教育科目）【地域経済学科】統計学入門、経済統計、経済数学、ビジネスプログラミング、ビジネスデータ分析。 ※科目名は学年によって異なります。各自の教育課程表で確認してください。
------	---

準備学習等	<p>【予習】</p> <p>①シラバスの講義テーマを参考に、事前にweb検索を実施し概要を予習する 30分</p> <p>②前回までの講義の内容を再確認し、実習課題に再度取り組む 60分</p> <p>【復習】</p> <p>①提出課題作成 60分</p>
-------	---

	<p>②コンピュータを使う機会を増やすため、講義ノートを一プロで作成 30分</p> <p>【履修上の注意】</p> <p>①本講は情報機器とその操作について、各高校で学ぶ知識・経験を前提にします。</p> <p>②各自に配布されている本学ネットワークシステムの「DINOS登録情報」を毎回必ず持参すること（特に開講時）。この情報がないと本講義は受講できません。</p> <p>③スマートフォン・ノートPCでweb情報検索が行える準備が必要です。初回講義でも説明します。</p> <p>④講義中にノートPCにて講義内容と同じ操作を試すことが望ましいが、無くても受講できます。</p> <p>⑤課題の提出と配布にwebシステムを用いる場合があります。 講義内容が理解できない場合、必ず質問に来てください。</p> <p>【学習上の質問・相談等】</p> <p>受講者の質問・相談は、個人の知識・経験・環境により異なります。 講義内容以外にも、ICT機器の利用に関する質問に対し解る範囲でアドバイス致します。</p> <p>①講義中に質疑の時間を必ず取るので質問はできるだけこの時間に出してください。</p> <p>②KIUポータル上のQ&A機能でも、質問も受け付けます。</p> <p>③オフィスアワー（待機時間は別途確認）も、併せて活用してください。</p> <p>④時間を要する質問や相談には、時間と説明場所（研究室、スタディスペースなど）を指示します。</p>
第1回	<p>情報検索</p> <p>インターネットやweb検索の歴史を紹介：情報検索（人の行動ログデータ・商品のレコメンテーション）</p> <p>インターネットやweb検索の歴史を紹介：文章生成AIによる要約やレジュメづくり</p> <p>【予復：「インターネット」についてwebで調査する。復習：演習問題を再調査する。】</p>
第2回	<p>情報倫理 1</p> <p>著作権と許諾・引用について考える：webから入手できる公開データと取り扱いと活用を学ぶ、データのオープン化を情報倫理から考える。</p> <p>個人情報の保護、データ倫理（データのねつ造、改ざん、盗用、プライバシー保護）</p> <p>【予復：「著作権」についてwebで調査する。復習：演習問題を再調査する。】</p>
第3回	<p>情報倫理 2</p> <p>仮説検証・原因究明のためのデータ取得方法を学ぶ。</p> <p>情報倫理（匿名加工情報）</p> <p>「恋ダンス」と著作権を考える。自分の意見をKIUポータルへ提出する。</p> <p>【予復：「踊ってみた」「恋ダンス」についてwebで調査する。復習：演習問題を再調査する。】</p>
第4回	<p>調査と考察 1</p> <p>「若者の自動離れ」とは、どのような社会現象か？ 自分の意見をKIUポータルへ提出する。</p> <p>【予習：「若者の自動離れ」をwebで調査する。復習：演習問題を再調査する。】</p>
第5回	<p>調査と考察 2</p> <p>自動車は生活に必要ですか？ 自分の意見をパワーポイント資料へまとめる。</p> <p>【予習：自動車の所有に関する意見をwebで調査する。復習：パワーポイント課題を練習。】</p>
第6回	<p>パワーポイント入門 1</p> <p>「セドリ」は善？ 悪？ 自分の意見をパワーポイント資料へまとめる。</p> <p>【予習：「セドリ」をwebで調査する。復習：パワーポイント課題を練習。】</p>
第7回	<p>パワーポイント入門 2</p> <p>地元の銘菓を紹介してください。お菓子の写真をwebから探し、パワーポイント資料へ使う。</p> <p>【予習：地元の銘菓をwebで調査する。復習：パワーポイント課題を練習。】</p>
第8回	<p>パワーポイント資料 1</p> <p>5W1Hを意識して、自分の考えを纏めてください。行ってみたい海外旅行先をパワーポイントへまとめる。</p> <p>【予習：行ってみたい海外旅行先をwebで調査する。復習：パワーポイント課題を練習。】</p>
第9回	<p>パワーポイント資料 2</p> <p>地元（出身地）近くの観光地を紹介してください。資料をパワーポイントへまとめる。</p> <p>【予習：地元（出身地）近くの観光地をwebで調査する。復習：パワーポイント課題を練習。】</p>
第10回	<p>パワーポイント資料 3</p> <p>あなたにとって、今年の重大ニュースは何ですか？ ニュースの詳細と意見をパワーポイントへまとめる。</p> <p>【予習：今年の重大ニュースをwebで調査する。復習：パワーポイント課題を練習。】</p>
第11回	<p>パワーポイント資料 4</p> <p>就職したいのは 地方？ 都市部？ 自分の意見を、パワーポイントへまとめる。</p> <p>【予習：就職先として、地方・都市部をwebで調査する。復習：パワーポイント課題を練習。】</p>
第12回	<p>パワーポイント資料 5</p> <p>友達に進めたい書籍の紹介を、パワーポイントへまとめる。</p> <p>【予習：友達に進めたい書籍の詳細をwebで調査する。復習：パワーポイント課題を練習。】</p>

第13回	<p>成績評価課題の作成準備：公開データから、文章生成AIを用いた要約やレジユメを作り特化型AI、汎用AI</p> <p>匿名加工情報、暗号化、パスワード、悪意ある情報搾取、情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介</p> <p>指示したテーマを調査し、自身の考えを反映させたパワーポイント資料を作成する。</p> <p>【予習：既習事項の確認、復習：オリジナリティと「気づかい」ある課題の作成。】</p>
第14回	<p>成績評価課題の作成 1</p> <p>優れた可視化事例を紹介 1</p> <p>指示したテーマを調査し、自身の考えを反映させたパワーポイント資料を作成する。</p> <p>【予習：既習事項の確認、復習：オリジナリティと「気づかい」ある課題の作成。】</p>
第15回	<p>成績評価課題の作成 2</p> <p>優れた可視化事例を紹介 2</p> <p>指示したテーマを調査し、自身の考えを反映させたパワーポイント資料を作成する。</p> <p>アセスメンター（自己評価と授業アンケート）の入力</p> <p>【予習：既習事項の確認、復習：オリジナリティと「気づかい」ある課題の作成。】</p>
評価方法	講義内の提出課題・宿題で評価する。定期試験を実施する予定はない。
評価基準	<p>AA 各種調査と結果の分析、プレゼンテーション、情報管理などの機会にコンピュータを適切かつ効率的に運用できる。</p> <p>A 独力でコンピュータを用いて、レポート等の文書作成・表計算・作図等を行うことができる。</p> <p>B 独力でコンピュータを用いて、文書作成・表計算・作図等に関する基本的な操作を行うことができる。</p> <p>C コンピュータの基本的な操作方法は身に着いている。説明を参照しながらコンピュータを使うことができる。</p> <p>F 基本的な操作方法が身に着いておらず、文書作成等にコンピュータを使うことができない。</p>
教科書	プリントまたはKIUポータルによりファイル形態で教材・資料等を配布。詳細は講義中に指示する。
参考書	質問内容と理解度に応じた書籍を指示する。